

公民館に特化した、唯一の災害対策本！

公民館における災害対策 ハンドブック 第3版

公益社団法人全国公民館連合会 編著

B5判・212頁 定価：2,200円（本体：2,000円+税10%）

公民館に求められる平時の防災対策だけでなく、災害対策に備えて事前に準備すべき事項、避難所運営等の対応について、場面ごとにポイントをわかりやすく解説。

最新の国の「感染症対策ガイドライン」をもとに、公民館活動においてどのように新型コロナウイルス感染症対策を行えばよいかを解説。

先進的な取組を行う公民館の活動事例、急な防災・災害時に役に立つ様式類についても掲載。



II. 災害への備え

公民館が災害に遭ったとき、また避難所になったときのため、あらかじめ次のような準備をしておく、スムーズな運営ができます。▶様式1-① (p.128)

(1) 防災計画における公民館の位置を確認しよう
国、地方公共団体等では、災害対策の実効を上げるため、災害対策基本法に基づき地域防災計画の策定およびその適切な実施を図っています。

そのなかで、公民館は避難所として指定されていたり、いなかったりして、その位置づけは市区町村によって異なります。あらかじめ自分のまちの防災体制を確認して、自分の公民館の位置づけを確認しておくことが重要です。ただし、避難所としての指定の有無にかかわらず、地域住民等が避難してくることを予想しますので、避難者に対して適切な対応ができるように計画を定めておく必要があります。

(2) 公民館の建物をよく知っておこう

地震では公民館も倒壊する可能性があります。阪神・淡路大震災においては、兵庫県内の公民館で全壊が1館、半壊が1館、一部の被害は105館にのぼりました。

建物が被害がある場合、さまざまな原因があります。1981年に見直された新耐震基準以降に建てられたものは被害が小さいといわれていますが、地盤や、建物の構造、形、また日ごろの建物の維持・管理状況なども大きく影響してきます。

公民館の敷地・建物の安全性をあらかじめ把握しておきましょう。
なお、公共施設等（公民館を含む）の耐震化事業には、財政支援（起債と交付税措置）があります。

(3) 施設・設備の耐震性を向上させよう

被害を少なくするために、ロッカー・冷蔵庫・テレビ・パソコン機器等備品の転倒防止、ガラス・陳列ケース等の破損・飛散防止、照明器具・時計・額等の固定強化などを実施しましょう。



IV. 公民館で災害に遭ったら

1. 地震が来た！ まず落ち着いて身の安全を

屋外にようと屋内にようと、大きな揺れに襲われたとき、むやみに逃げるのではなく、第一に「頭を守る」ことを心がけましょう。

足や手を切っても出血量が多くなれば命に別状はありませんが、頭に落下物が当たれば意識を失い、当たり所によっては死に直結します。そこで、

①まず丈夫な机や椅子などの下にもぐり、足をしっかりと折りましょう。②もぐる場所がない場合、カバン、雑誌など身近なものを頭の上に置いて守りましょう。③何もなければ、手で頭を守ります。このとき、手のひらを内側に向けて。逆だと落下物が当たり手の血管を傷つけることになりかねません。

ポイントは、頭と直接ではなく、少し浮かせて、カバンや手などで頭を守ることです。頭とべったりくっつけていると、落下物の衝撃がまともにきてしまいます。少し浮かせて空間をつくっておくと、それがクッションの役割を果たして、衝撃がかなり緩和されます。どんな大地震でも揺れは1分程度といわれています。阪神・淡路大震災でも50秒でした。揺れている1分間は身を安全なところに置いて、揺れが収まってから行動するほうが無難です。

来館者には、扉・窓・ロッカー等から離れるよう大声で指示し、落ち着いて行動するように声をかけましょう。



① 机などの下にもぐる姿勢
丈夫な机などの下にもぐり、頭を守ります。机の足をしっかりと折りましょう。



② カバンで頭を守る姿勢
頭から10cmくらい離してカバンで頭を守ります。手はできるだけカバンの下に入れておきましょう。



③ 頭を守る姿勢
頭から10cmくらい離して手のひらを内側に向けて頭を守ります。両ひじを並べて頭を守りましょう。



第3版は、東日本大震災・熊本地震などで実際に被災、対応した公民館職員の声を掲載！



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
<https://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

第1部 日常の防災活動

- I. 公民館を活用した防災学習
- II. 災害への備え
- III. 災害対応マニュアルの作成
- IV. 公民館で災害に遭ったら

第2部 避難所としての対応マニュアル

- I. 避難所運営の実際
- II. 地震以外の災害における留意事項

第3部 事例

- 【実践事例1】 避難所運営に公民館機能をどのように生かしたか
宮城県石巻市石巻中央公民館
- 【実践事例2】 「東日本大震災」における避難所対応について
宮城県気仙沼市立本吉公民館
- 【実践事例3】 避難所としての地区公民館運営
岩手県大船渡市立大船渡地区公民館
- 【実践事例4】 熊本地震の振り返り
～学びのすそ野を広げることは防災につながる
熊本県熊本市秋津公民館
- 【実践事例5（インタビュー）】
ビッグパレットふくしま避難所の取り組み

第4部 各種参考様式

- 様式1-① 公民館防災度チェックリスト
- 様式1-② 災害時職員分担表
- 様式1-③ 避難所開設準備チェックリスト
- 様式1-④ 避難所運営委員会運営規約（案）
- 様式1-⑤ 避難所における共通理解ルール（案）
- 様式2-① 避難所のお知らせとやくそく（案）
- 様式2-② 避難者名簿
- 様式2-③ 食事等確認票

第5部 資料

- I. わが国の防災体制
- II. 社会教育施設等への災害に関する補助、通知等
- III. 特別寄稿

公民館職員になったら
読んでほしい！

関連図書のご案内

よくわかる公民館のしごと 第3版

公益社団法人全国公民館連合会 編著
A5判・352頁
定価：2,420円（本体：2,200円＋税10%）

- ◆ 公民館職員に求められる基本知識から職務に必要な知識まで幅広く網羅した入門書。
- ◆ 公民館の仕事を一冊で学べる、公民館新人職員がおさえておくべき情報が満載！



詳細・試し読み・お申込みはコチラ

<クレジットカードでもお支払いいただけます>



第一法規

Q 検索

CLICK!



キリトリ線

申込書（第一法規刊）		
書名	価格	部数
公民館における災害対策ハンドブック 第3版 [091330]	定価2,200円（本体2,000円＋税10%）	部
よくわかる公民館のしごと 第3版 [077479]	定価2,420円（本体2,200円＋税10%）	部

*弊社宛直接お申し込みいただく場合、一回のご注文でお届け先が一箇所、お買い上げ合計金額5,000円（税込）以上のご注文は、国内配送料サービスといたします。また、お買い上げ合計金額5,000円（税込）未満のご注文については、国内配送料550円（税込）にてお届けいたします。
*消費税は申込日時の適用税率に依ります。

◎上記のとおり申し込みます。代金については、次に示す方法にて支払います。

*現在、弊社とお取引のないお客様につきましては、代金引換にてお支払いをお願い申し上げます。

（いずれかを✓で選択ください。） 代金引換により支払います。 現品到着後請求書により支払います。

*代金引換手数料について 一回あたりのお購入金額 (商品の税込価格+送料)の合計が	1万円以下の場合、330円(税込) 3万円以下の場合、440円(税込) 10万円以下の場合、660円(税込)	*送料・代引手数料を含む合計金額は、商品のお届け時に配送業者に現金でお支払いください。その際、クレジットカードはご利用いただけません。
---	--	---

年 月 日

〒 _____ 様

ご住所

機関名 _____ 部署名 _____ 公用 私用

フリガナ _____ TEL _____

ご氏名 _____ E-mail _____ @ _____

お客様の個人情報の取扱いについて
お客様よりお預かりした個人情報は、納品や請求書等の発送・アフターサービス、弊社製品・サービスのご案内などの目的のために利用させていただきます。また、お客様の個人情報は、弊社ホームページに掲載のプライバシーポリシーに基づき適切に取り扱います。なお、個人情報についての照会、修正・削除・利用停止を希望される場合、その他お問い合わせにつきましては、お問合せフォーム (https://www.dalichihoki.co.jp/support/contact/contact.php) からフリーダイヤルにてご連絡ください。フリーダイヤル ☎TEL.0120-203-696 ☎FAX.0120-202-974

取扱い

この申込書は、ハガキに貼るか、このままFAXで下記宛お送りください。

■宛先
〒107-8560
東京都港区南青山2-11-17
第一法規株式会社
☎FAX.0120-302-640

書店印